

みんなで学ぼう「夏休み工作教室」



小ヶ倉中学校区青少年育成協議会 川口かよ



て「みんなで学ぼう」「ふれあいレクリエーション」「みんなで遊ぼう」を

掲げ、思考を凝らして取り組んでいます。

7月30日は「みんなで遊ぼう」の取り組みとして「フォトフレーム作り」と「スイカ割り」を毎年恒例の小ヶ倉公民館にて開催しました。幼稚園や小学生の親子約90名が参加しました。各自キットの中の綺麗な貝がらや毛糸やビーズ、持参した葉っぱや小枝など飾り付け、中にお父さんやお母さんも手伝って和気あいあい！子どもたちは「難しかったけど楽しかった！」夏休みの思い出の写真を飾りたい!と話してくれ、オリジナルの作品に満足そうでした。次にスイカ割り大会！5個の大玉スイカ。やつと割れたスイカは甘～く甘～く、あ～と言つまに不甘つてしましました。また24日には小ヶ倉中学校の理科室で特別企画の科学教室も開催されました。

これからも、みんなの笑顔や笑い声あふれる明るい家庭や地域環境づくりに取り組んでまいります。

わがまち自慢 120選認定 “西町まつり”

北公民館区青少年育成連絡協議会 松尾信之

社会福祉協議会西町支部を中心に地域の連合自治会、民生児童委員協議会、育成協議会が協力して始まった「西町まつり」が今年で34回目を迎えるました。前日の

雨で一日順延の8月27日、工夫したキャラクターの子どもたちが地域をパレードし午後4時半に白鳥運動場に集合。ます子どもみこしのお披露目と表彰式です。そのあと、5時半からは西町小学校5年生・6年生による力強い踊り、6時前には縁が丘中学校吹奏楽部による楽しい演奏と続き、保護者や地域の皆さんの大囃采で祭りは余々に盛り上がりていきます。周囲にはテントの出店で親父の会、学童クラブ等のお店が10軒ほど並んでいます。少し薄暗くなると提灯に明かりが灯り、子どもはラムネ、大人はなんどビールの早飲み大会で笑いの渦が広がりました。7時過ぎからは、○×ゲーム、そして



つなげ人と心 地域の輪
子どもの出番を広げよう

まらめく
長崎の子どもたち

のびゆく
ま
な
ま
つ
た
す
く
83

長崎市青少年育成連絡協議会より
平成29年10月26日

今号の内容

・第40回広島・長崎子ども会親善交歓会
・小ヶ倉中学校区青少年育成協議会の取り組み

・わがまち自慢120選認定 “西町まつり”
・編集後記

編集後記

市内の各育成協議会では、その地域の実情に合わせて様々な工夫をしながら、子どもたちの健全育成のために活動をしていました。ただ、どんなに良い活動でも、環境の変化や扱い手の不足のために懸念する事が難しくなったりマンネリ化したりするのです。ある育成協議会では、そもそも育成協議会とは何かについて、役員の自由な意見や考え方を広く聞く試みをしました。良い活動と活性化のためには、時に本来の意義を根本的に問いかけることが必要ですね。

長崎団代表挨拶
(広島市長による歓迎セレモニー)



広島・平和記念公園

献花式

今回参加した長崎団42名

第40回 広島・長崎子ども会 親善文教大会

8月18日～20日の3日間にわたりて広島市にて開催されました。長崎町は42名が参加し、広島県の58名と交流しました。
料館の見学や原爆ドーム等の被爆遺構をめぐり、平和について考りました。また、市内散策やキャンプファイヤーを通して流れを深め、子ども会のリーダーとしての資質を養いました。

出会いに感謝！充実した3日間！！

私は今回の交歓会が4年ぶり、3回目の参加でした。正直、リーダーとして自分の役割を果たせるか、そして何より班員のみんなをまとめるのが不安でした。ですが、広島のジュニアリーダーや同じ長崎団のメンバーとの支え合いもあり、有意義な3日間になったと思いました。

同じ被爆地である広島は、長崎とは違い、被爆当初から残っている原爆ドームが印象的でした。72年後の今でも当時の記憶を思い出させられるような迫力がありました。日本では72年前、戦争を起さずにこの世の中は進んできました。これからも戦争を起さないために世界の仲は深めたまほうがよいと思いました。

この3日間、広島と長崎の友達と過ごして、特に思い出に残つたことは、みんなで行動した市内散策です。広島の子と一緒にあみやげを選んでもらつたり、案内してもらつたりとがよいと思いました。

短い時間でしたが、とても内容の詰まった楽しい時間になりました。特に、別れの時は正直、涙が溢れそうになりましたが、その分、いい出会いができたのかなあと思います。

私は普段、自分から率先して物事を進めるタイプではありませんので、ここ6年間、リーダーといつ場所をきらう場合で最も多くなったのですが、今回また、自分一人で、今までなかったことです。ですが、今回また、自分一人で、本当にどうなったのかを知らなかつたけれど、主にどうなったのかを知らない場所で交歓会を経験して、感想することができました。この経験をしっかり忘れずには、何事も率先して行動しようと思いまます。長崎団のみなさん、特に2班のみんな、3日間、私についてくれてありがとうございました。これから先、この交歓会での出会いがみんなの長所につながっていくことを願っています。3日間お世話になりました。ありがとうございました。

ジュニアリーダー空 古里 夏実（高2）

僕がこの研修を通して学んだことは3つあります。

1つ目は、広島原爆についてです。広島原爆は、長崎の原爆と違い、ウラン型でとても大きいウランが詰められていたそうです。その小さな爆薬で、広島市民の10万人以上の方が一瞬でくなつたと聞いて、改めて核の恐ろしさを知りました。しかし今、世界では核を保有している国がたくさんあります。この国々が核を放すことを僕は強く望いています。

2つ目は、今回初めてジュニアリーダーとして参加し、班をまとめたことです。最初はうまくまとめられかね安だつたけど他のリーダーや指導者の方々のアドバイスで緊張がほぐれました。この経験を生かして、来年新しくジュニアリーダーになる人に、今年僕がしてもらったようなアドバイスをして、リラックスさせたいです。

ジュニアリーダー空 佐藤 達馬（中2）

3つ目は、この交歓会を主催してくださった広島・長崎の関係者、参加者、指導者の方、バスの運転手さん、その他のいろいろな人に感謝する」ことです。この交歓会をスムーズに進めることができたのは、この方々のおかげです。関わってくださつたすべての方に感謝する」ことが大切だと思います。

この研修で、平和の大切さを深く学ぶことができました。この学んだことを生かして、核の恐ろしさをまわりの人たちに伝えていこうと思います。そして、自分のできることとして、友達と仲良くして、ひとりぼっちをつくらないようにし、平和に向けて取り組んでいきます。



広島での3日間

ジュニアリーダー空 佐藤 優里香（中1）

この交歓会で学んだことは、広島に落とされた原子爆弾についてです。長崎にも原子爆弾が落とされましたが、それまでの付いたと呼ばれていました。広島のは「リトルボーイ」、長崎のは「ファットマン」といいます。

広島に落とされたリトルボーイには、ウランがほんの少ししか入っていないかったり、驚きました。量が少くとも、壁の厚さが近くあった島病院という建物でさえも、簡単に破壊されるほどの威力だったと聞いて、改めて核兵器の恐ろしさを知りました。

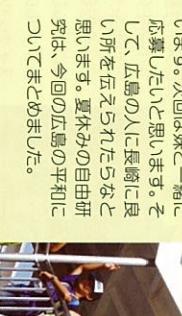


初めて広島で学んだこと

長崎団 藤岡 圭（小5）

私は初めての広島で、学んだことが3つあります。1つ目は平和についてです。私たちの班は本当に上下関係がなく、班の中で1番下な自分にどんどん話しかけてくれたり、私も初めは緊張したりけどどちらなんじめい、楽しくしゃべれてとても安心しました。なので、これから私も年上や年下など関係なく話せるよう、自分から積極的に話しかけていきたいです。

2つ目は平和についてです。私は広島のほうが投下された爆弾が小さいのに、被爆が長崎よりも大きかったことは知っています。ただ、主にどうなったのかを知らない方が多いです。今回実際に見れてよかったです。そしていろいろな所から折り鶴でつくった再生紙で×モ版やおしり、ホールペーパー、紙粘土などをつくり、販売しており、とても良い活用法で、長崎でもやってほしいと思いました。そして、広島も長崎で、長崎でもやってほしいと思いました。



原爆の恐ろしさ

長崎団 小林 和心（小6）

今回、広島に行ってわかったことは、広島に投下された原爆は長崎よりも多くの人が亡くなつてしまつたこと、泊宿したこと、島では多くの身傷した兵隊たちが通ってきて、薬品はあつたもので、ひどい目に遭つたそです。広島と長崎で共通して驚いたことは、たった少量の核燃料が大爆発を起こし、多くの人の命が奪われてしまつたことです。私はこれを機に、核兵器は人の命を奪うものだから、もう二度と使ってはいけない、世界中の人たちに平和な世界をつくろう」と広めようと思いました。私が一番心に残つたのは、2歳の時に被爆した佐々木娘さんのお話をでした。娘さんは2歳の時に被爆し、その後、元気に成長しましたが、9年後に突然、白

血病を発病しました。娘さんは「折り鶴を千羽折ると願いが叶う」ということを信じ、毎日毎日手作りで包み紙などを使い、鶴を折り続ければ、8ヶ月の間に千羽以上、鶴を折りました。娘さんは8ヶ月の間に、千羽以上、鶴を折りました。自分が「自分の体が回復する」という願いは叶いませんでした。そして、娘さんは死をきっかけに「原爆で亡くなつた子どもの靈を慰め、平和を築くための像をつくろう」という運動がはじまり、「原爆の子の像」が完成した」という内容でした。原子爆弾が投下された日から長い年月が経っていますが、私は被爆された方々やその家族の悲しみを忘れてしまわぬよう伝えたいと思います。

広島・長崎に参加して

3

長崎団 藤岡 圭（小5）

広島・長崎子ども会親善文教大会に参加するのは今回で4回目になります。第40回に参加することができてとてもうれしく思っています。広島に行くのは2度目で改めて広島原爆や戦時の似鳥のことなどを知ることができます。あんな小さなウランで多くの罪のない人たちが殺されたと聞いて、とても驚きました。広島と長崎に原爆を落とした後にもう一度アメリカで原爆実験を行っている映像を見て、怒りと悲しみがこみあがけました。この世界にまた核兵器がたくさんのこっていることも知りました。今、学んだことは広島や長崎だけでなく、他県の人たちにもこの恐ろしさを知ってほしいと思いました。

平和を広めるには、まず自分の周りで平和をつくらないといけないと思います。そのためには、まず友達が必要だと思いまます。友達と協力したりすることが平和につながっていく僕は思います。そんな友達が広島・長崎関係なくたくさんできましたので良かったです。一番思い出に残つていることはキャ

